

製品名: レニン受容体ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17018**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	39kDa

抗原情報

遺伝子名	ATP6AP2 ATP6AP2; ATP6IP2; CAPER; ELDF10; HT028; MSTP009; PSEC0072; Renin receptor; ATPase
別名	H(+)-transporting lysosomal accessory protein 2; ATPase H(+)-transporting lysosomal-interacting protein 2; ER-localized type I transmembrane adaptor; Embryoni
遺伝子 ID	10159.0
SwissProt ID	O75787
免疫原	抗血清はヒトケッパー由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 171-220

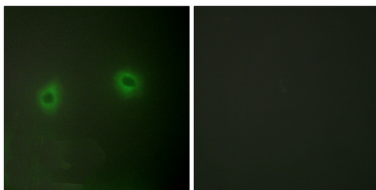
背景

この遺伝子は、アデノシン三リン酸分解酵素 (ATPase) に関連するタンパク質をコードしています。プロトン輸送性 ATPase は、エネルギー保存、二次能動輸送、細胞内区画の酸性化、そして細胞 pH 恒常性維持において重要な役割を果たします。ATPase には、F、P、V の3つのクラスがあります。液胞型 (V 型) ATPase は、膜貫通型のプロトン伝導セクターと膜外触媒セクターを有しています。この遺伝子がコードするタンパク質は、V 型 ATPase の膜貫通セクターに関連することが確認されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、疾患: ATP6AP2 の欠陥は、てんかんを伴う X 連鎖性精神遅滞 (MRXE) の原因です [MIM:300423]。MRXE は症候群性精神遅滞です。患者は、てんかん、運動発達の遅れ、乳児期の言語獲得の遅れを伴う、軽度から中等度の知的障害を呈する。、機能: レニンおよびプロレニンの細胞受容体として機能する。ERK1 および ERK2 を活性化することにより、レニン依存性細胞応答を媒介する可能性がある。AGT/アンジオテンシノーゲンからアンジオテンシン I への変換におけるレニンの触媒効率を高めることにより、レニン-アンジオテンシン系 (RAS) においても役割を果たす可能性がある。、PTM: リン酸化されている。、サブユニット: レニンおよび液胞プロトン ATPase と相互作用する。、組織特異性: 脳、心臓、胎盤、肝臓、腎臓、膵臓で発現する。肺および骨格筋ではほとんど検出されない。腎皮質では、糸球体のメサンギウムに限定されている。冠動脈および腎動脈では、平滑筋に付随する内皮下層で発現し、REN と共局在する。血管構造および成熟胎児胎盤の合胞体栄養芽細胞にも発現する。

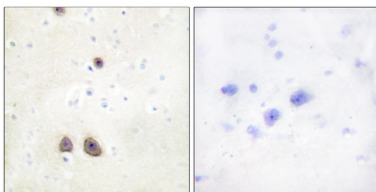
研究分野

シグナル伝達; 代謝; 細胞膜; ATPase; 代謝; 疾患の種類; がん

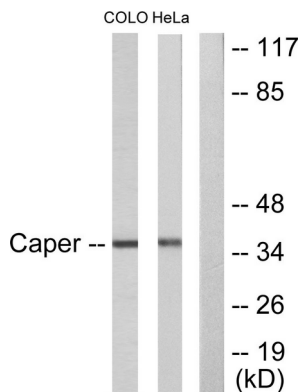
画像データ



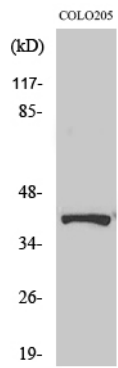
Caper 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



Caper 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



Caper 抗体を用いた COLO205 細胞および HeLa 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



レニン受容体ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析